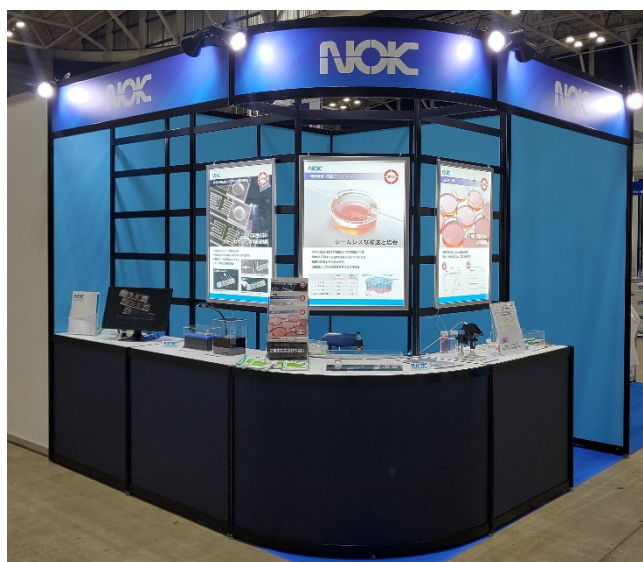


## 再生医療分野の研究開発の加速・産業化を目指す 「再生医療 JAPAN」へ出展

NOK株式会社(本社:港区芝大門 1-12-15、以下「NOK」)は、再生医療分野の研究開発の加速・産業化を目指すアジア最大級のパートナーリングイベント「再生医療 JAPAN」へ出展いたします。NOK ブースでは、再生医療や細胞培養を社会生活に取り入れ、貢献していける製品・技術をご紹介します。いずれも開発中の製品・技術ではございますが、今後を見据えた開発パートナーも募集しております。NOK ブースまで、ぜひお越しください。



### 展示製品紹介

#### 水と同じ屈折率の透明樹脂「MEXFLON®」

NOK 独自のフッ素化学技術を生かし、「水と同じ屈折率」という光学特性を有した透明フッ素樹脂「MEXFLON®(メックスフロン)」を開発いたしました。水との界面において光の屈折がほとんど生じないため、従来の透明材料越しで歪んで見えていた対象物を、クリアに観察することができます。

該当製品の特長を生かした細胞培養容器としての活躍が期待でき、「細胞培養容器に影が生まれ、細胞が観察しにくい」「画像解析による細胞検査の精度を上げたい」という課題を解決します。



細胞培養をする様子。従来の容器と異なり光学観察の妨げとなる影が生じません

## 作業がシームレスに「細胞培養・輸送アタッチメント」

細胞の培養・観察・輸送を一貫して行うことができるアタッチメントを開発いたしました。透明なガス透過性の高い材料を使用することで、細胞培養に必要なガスの交換がスムーズになり、またチューブを接続した灌流培養(※)も行うことができます。培地の振動の要因となる気泡が抜けやすい特殊構造のため、輸送時の細胞へのダメージも軽減。細胞の培養から輸送までの作業をシームレスに行うことができます。

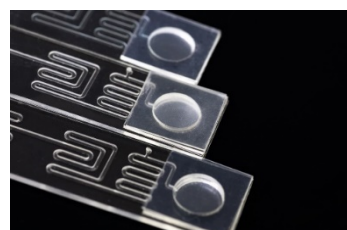
※液体を流し、生体と同じような環境を作って培養する手法



細胞培養中のシャーレにかぶせて使用することを想定しているため、お使いの容器に合わせた設計が可能です

## 異物混入対策がされたマイクロ流体デバイス 「ダイヤフラムポンプ式マイクロ流体デバイス」

NOK が有するゴムの混練技術とマイクロ流体デバイスの開発技術を融合し、外気と遮断された構造のマイクロ流体デバイスを開発いたしました。チューブ等を使用しないため、異物混入ににくい、高い衛生管理が求められる場での活躍が期待できます。また、送液にダイヤフラムポンプを採用することで、一定の速度で送液が可能。コスト・工数の削減に貢献し「マイクロ流体の送液を自動化したい」という課題を解決します。



アクチュエータ等により、一定速度で安定した送液が可能です

ご取材依頼、また製品に関するお問い合わせなどございましたら、下記までお問い合わせください。

## 再生医療 JAPAN 出展情報

会期：10月13日(水)～15日(金) 10:00～17:00

会場：パシフィコ横浜 展示ホール、ANNEX ホール、ノース

ホームページ：<https://jcd-expo.jp/ja/>

本件リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 広報部 (03)5405-6372

### NOK 株式会社 概要

事業内容：シール製品・工業用機能部品・油圧機器・プラント機器・原子力機器・合成化学製品・エレクトロニクス製品・その他の製造・仕入・輸入・販売ならびに機械器具設置工事等上記に付帯する業務  
本社：〒105-8585 東京都港区芝大門 1-12-15